

■第41回「省燃費運転研修会」(油圧ショベル実技研修)を開催しました

(一社)日本建設業連合会 環境委員会 温暖化対策部会は、平成29年10月13日(金)に油圧ショベルを対象とした省燃費運転研修会を開催しました。

今回は、桜川ダム本体建設工事現場 大成・飛島・村上JV(香川県高松市塩江町)、日立建機日本株の参加協力のもと、油圧ショベルを使用した省燃費運転による燃費改善効果を測定しました。

オペレーター4名が20t級標準油圧ショベルを使用した積込掘削作業時の省燃費運転による燃費改善効果を測定しました。4名平均の燃費改善率(燃費あたりの土量生産性改善効果)は約10%改善の結果が出ました。

現場状況によりエコモードの使用、積み込み位置(角度)等現場レイアウトの検討、機械の負荷低減、無駄なアイドリングの防止等々、生産性を維持しながら燃料消費量を下げる操作方法を実践することができました。

また当日は実技による「油圧ショベルによる省燃費運転」の他、「地球温暖化と気候変動について」、「施工での地球温暖化への取組み」、「省燃費運転研修 座学標準カリキュラムの紹介」等の講習を実施しました。

日建連では、施工段階におけるCO₂削減活動として、トラック・ダンプ・油圧ショベル等を対象とした省燃費運転を推進しています。2002年より全国各地で省燃費運転研修会を開催し、今回で計41回目となります。施工段階におけるCO₂排出量の約4割強は建設重機で使用する軽油が占めており、建設現場内での温暖化対策を推進する上で「省燃費運転」の徹底と普及促進は重点課題です。

また、省燃費運転は燃料使用量削減による経費節減にも寄与し、重機・車両の長寿命化や安全運転促進にも効果のある活動です。今後も日建連では省燃費運転を建設業界内に広く普及するため、行政や建機業界と連携した活動を展開していく予定です。

○開催日時：2017年10月13日(金) 9:50~15:00

○開催場所：桜川ダム本体建設工事現場 大成・飛島・村上JV (香川県高松市塩江町)

○主催：(一社)日本建設業連合会

○協力：日立建機日本株

○対象車種：油圧ショベル標準車

○参加者：計37名 (受講運転手：4名 研修参加者：33名)

○研修内容

実技講習：省燃費運転による積込掘削作業 (通常運転、省燃費運転の実施)

その他講習「地球温暖化と気候変動について」、「施工での地球温暖化への取組み」

「省燃費運転研修座学標準カリキュラム(業界標準版)について」、「省燃費DVDの放映」、「現場における温暖化対策について」、「省エネ運転について」、「低炭素型建設機械について」、「省燃費のためのメンテナンス」、等

○研修結果：

燃費改善率： 10%

※燃料あたりの土量生産性改善効果

(1リットルあたりどれだけの作業量(ton)を積み込みしたかを表す指標)



座学講習「地球温暖化と気候変動」
(日建連 温暖化対策部会)



座学講習「省燃費運転に関する講義」
(日立建機日本)



座学カリキュラム理解度テスト
(日建連 温暖化対策部会)



現場における温暖化対策見学
(椋川ダム大成 JV)



掘削積込作業実技前指導



通常運転実技確認状況



省燃費運転実技実施状況



研修会参加者